



CLI ベースのセットアップ プログラムによる スイッチの設定

ここでは、スタンドアロン スイッチをコマンドライン インターフェイス (CLI) ベースでセットアップする手順について説明します。スイッチを電源に接続する前に、[第 2 章「スイッチの設置」](#) および [第 3 章「AC および DC 電源モジュールの取り付けと取り外し」](#) を参照して安全に関する注意事項を確認してください。

コンソール ポート経由での CLI のアクセス

スイッチのコンソール ポートを PC またはワークステーションのシリアル ポートに接続し、Telnet セッションを通じてスイッチにアクセスすることにより、設定済みスイッチ、または未設定のスイッチ上で CLI にアクセスできます。

ターミナル エミュレーション ソフトウェアの起動

スイッチの電源を入れる前に、ターミナル エミュレーション セッションを起動して、Power-on Self-Test (POST; 電源投入時自己診断テスト) からの出力が表示されるようにします。

端末エミュレーション ソフトウェア (その多くは、ハイパーターミナルや Procomm Plus などの PC アプリケーション) によって、スイッチと PC または端末間の通信が可能になります。

次の手順で、ターミナル エミュレーション セッションを起動します。

-
- ステップ 1** PC または端末を使用している場合、端末エミュレーション プログラムを起動します。
- ステップ 2** PC または端末のボー レートおよびキャラクタ フォーマットを、以下に示すコンソール ポートのデフォルト特性に合わせて設定します。
- 9600 ボーまたは 115200 ボー (推奨レート)
 - 8 データ ビット
 - 1 ストップ ビット
 - パリティなし
 - なし (フロー制御)
-

スイッチに電源を投入するには、AC 電源コードの一端をスイッチの AC 電源コネクタに接続し、電源コードのもう一端を AC 電源コンセントに接続します。

DC スイッチに電源を投入するには、第 3 章「AC および DC 電源モジュールの取り付けと取り外し」を参照してください。

初期設定情報の入力

スイッチを設定するには、セットアッププログラムを完了する必要があります。このプログラムは、スイッチの電源が入ると自動的に実行されます。スイッチがローカル ルータやインターネットと通信するのに必要な IP アドレスやその他の設定情報を割り当てる必要があります。

IP 設定

セットアッププログラムを完了するには、ネットワーク管理者から次の情報を入手しておく必要があります。

- スイッチの IP アドレス
- サブネット マスク (IP ネットマスク)
- デフォルト ゲートウェイ (ルータ)
- イネーブル シークレット パスワード
- イネーブル パスワード
- Telnet パスワード

セットアッププログラムの完了

セットアッププログラムを完了し、スイッチの初期設定を作成する手順は次のとおりです。

ステップ 1 最初の 2 つのプロンプトで **Yes** を入力します。

```
Would you like to enter the initial configuration dialog? [yes/no]: yes
```

```
At any point you may enter a question mark '?' for help.
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.
Default settings are in square brackets '[]'.
```

```
Basic management setup configures only enough connectivity
for management of the system, extended setup will ask you
to configure each interface on the system.
```

```
Would you like to enter basic management setup? [yes/no]: yes
```

ステップ 2 スイッチのホスト名を入力し、**Return** を押します。

ホスト名は、コマンド スイッチでは 28 文字以内、メンバ スイッチでは 31 文字以内に制限されています。どのスイッチのホスト名でも、最後の文字には **-n** (n は数字) を使用しないでください。

```
Enter host name [Switch]: host_name
```

ステップ 3 イネーブル シークレット パスワードを入力し、**Return** を押します。

このパスワードは 1 ～ 25 文字の英数字で指定できます。先頭の文字を数字にしてもかまいません。大文字と小文字が区別されます。スペースも使えますが、先頭のスペースは無視されます。シークレットパスワードは暗号化されますが、イネーブルパスワードはプレーンテキストです。

```
Enter enable secret: secret_password
```

ステップ 4 イネーブル パスワードを入力し、**Return** を押します。

```
Enter enable password: enable_password
```

ステップ 5 仮想端末 (Telnet) パスワードを入力し、**Return** を押します。

このパスワードは 1 ～ 25 文字の英数字で指定できます。大文字と小文字が区別されます。スペースも使えますが、先頭のスペースは無視されます。

```
Enter virtual terminal password: terminal-password
```

ステップ 6 (任意) プロンプトに従って、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) を設定します。CLI を使用して、あとで SNMP を設定することもできます。あとで SNMP を設定する場合は、**no** と入力します。

```
Configure SNMP Network Management? [no]: no
```

ステップ 7 管理ネットワークに接続するインターフェイスのインターフェイス名 (物理的なインターフェイスまたは VLAN (仮想 LAN) の名前) を入力して、**Return** を押します。このリリースでは、インターフェイス名には必ず **vlan1** を使用してください。

```
Enter interface name used to connect to the
management network from the above interface summary: vlan1
```

ステップ 8 インターフェイスを設定するために、スイッチの IP アドレスとサブネット マスクを入力し、**Return** を押します。下に示す IP アドレスとサブネット マスクは一例です。

```
Configuring interface vlan1:
Configure IP on this interface? [yes]: yes
IP address for this interface: 10.4.120.106
Subnet mask for this interface [255.0.0.0]: 255.0.0.0
```

ステップ 9 **Y** を入力して、スイッチをクラスタ コマンド スイッチとして設定します。**N** を入力すると、メンバ スイッチまたはスタンドアロン スイッチとして設定されます。

N を入力した場合は、CLI を使用してスイッチをコマンド スイッチとしてあとで設定できます。あとで設定する場合は、**no** と入力します。

```
Would you like to enable as a cluster command switch? [yes/no]: no
```

以上でスイッチの初期設定が完了しました。スイッチに初期設定が表示されます。以下に出力例を示します。

```
The following configuration command script was created:
hostname switch1
enable secret 5 $1$U1q8$D1A/OiaEb190WcBPd9c0n1
enable password enable_password
line vty 0 15
password terminal-password
no snmp-server
!
no ip routing

!
interface Vlan1
no shutdown
ip address 10.4.120.106 255.0.0.0
!
```

```
interface FastEthernet1/0/1
!  
interface FastEthernet1/0/2  
  
interface FastEthernet1/0/3  
!  
...<output abbreviated>  
end
```

ステップ 10 次の選択肢が表示されます。

[0] Go to the IOS command prompt without saving this config.

[1] Return back to the setup without saving this config.

[2] Save this configuration to nvram and exit.

設定を保存し、スイッチを次回再起動する際に使用する場合は、オプション 2 を選択して NVRAM に保存します。

Enter your selection [2]:2

いずれかを選択して **Return** を押します。

セットアッププログラムが完了すると、スイッチは作成されたデフォルト設定を実行できます。CLI を使用すると、この設定の変更や他の管理タスクを実行できます。

CLI を使用するには、コンソールの *Switch>* プロンプトにコマンドを入力します。